

東北大学環境報告書 2024 に対する評価

「環境報告書 2024」は、環境にかかわる東北大学の多岐にわたる活動内容について、体系的かつ網羅的にまとめられた報告書である。2024 年版もデータが適切に開示されて評価がなされており、事業所の報告義務を十分に果たしている。同時に、2023 年版に対する本評価委員会の意見内容がすべて反映され、改善がなされていることが確認できた。特に、環境保全への取組として掲載されている、社会全体に貢献する研究等は、学外の方や一般の読者の興味を引き、参考となる情報を提供するだけでなく、本学が環境問題に対して前向きな姿勢で取り組んでいることを印象付けている。さらに、環境関連の人材育成について、研究にかかわる学生の声も盛り込んだ上で活動状況がまとめられており、大学ならではの環境報告書となっているように感じた。

最後に、精緻なデータを入手し評価を行いながら、膨大な情報量を分かりやすくまとめられた環境報告書作成専門部会（2024 年度）のご努力に深く敬意を表す。今後、本報告書がさらに充実し、東北大学の環境マネジメントにさらに有効に活用されることを期待し、本委員会で出された主な意見を以下に列挙するので、参考にしていただければ幸いである。

- 1) 再生可能エネルギーの導入について、調達する電力に占める再生可能エネルギーの比率等、有用な情報の提供が望まれる。トピックス 1（18 頁）で事例を紹介していた太陽光発電設備については、取組に関する本学の方針等を示すことで、一般の方や学外の関係者の方にも参考になると期待される。
- 2) II 各論「1. 教育・研究活動における環境負荷の状況」の中で、投入量（使用量）や排出量が減少した場合の要因が記載されていない箇所が幾つかあったので対応が求められる。また、二酸化炭素排出量は、2030 年度にて 2013 年度比で 50%削減することを目標にしているが、その進捗状況についても言及した方が良いと思われる。
- 3) II 各論「3. 環境関連研究の紹介」の研究トピックスで使われている図について、対象読者が一般市民であることを考えると、内容把握が難しいと思われる。平易な言葉を使用し、初学者でも分かりやすくなるような説明を加えた方が良い。

東北大学環境報告書評価委員会（2024 年度）

	所 属	職 名	氏 名
委員長	工学研究科	教 授	三ツ石 方也
委 員	環境科学研究科	准教授	小端 拓郎
委 員	流体科学研究所	教 授	徳増 崇
委 員	医学系研究科	教 授	大和田 祐二
委 員	法学研究科	教 授	永島 徹也
委 員	理学研究科	准教授	本堂 毅
委 員	農学研究科	准教授	井元 智子
委 員	宮城県環境生活部 環境政策課	課 長	鈴木 智子
委 員	東北電力株式会社 グループ戦略部門 サステナビリティ推進ユニット	マネージャー	阿部 圭子